

## 不良発生要因の記録作業を自動化して、簡単・正確にワンタッチ

不良発生時、事象の『記録』だけにとどまっていますか？

### 現状

部品製造メーカーの生産管理ご担当者さまのケース

- ・不良発生の際には記録できても、要因までは記録できないので、品質カイゼンにはつながらない。
- ・要因を手書きで記録して、さらにPCへ入力する工数が膨大だ。

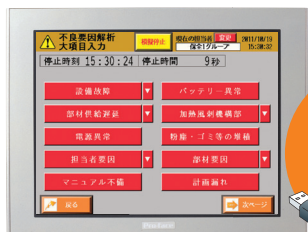


### ご提案

そんなあなたに朗報です。

よくある不良要因を表示器に登録するだけで、今の設備を変更することなく、簡単に不良要因情報を収集できます。

よくある不良要因を表示器にボタンとして設定しておくことでワンタッチで記録！



USBで簡単項目変更

手書き不要

入力ミスのない正確なデータで分析

PC入力不要



不良要因分析アプリケーション

ご紹介した提案内容は、お客様の状況により実際のアプリケーションが異なります。詳しくは営業までお問い合わせください



自動車部品製造メーカー  
生産管理担当  
上向様（仮名） / 熊本県

不良品削減を目標にしたカイゼン活動。しかし、いっこうに品質は向上しない。今回の事例は、そんなお悩みをお持ちだった自動車製造メーカーの生産管理ご担当者さまの改善事例です。さて、どのように改善されたのでしょうか？

## 現象だけでの記録に留まり、 分析に重要な「要因」が記録できていない。

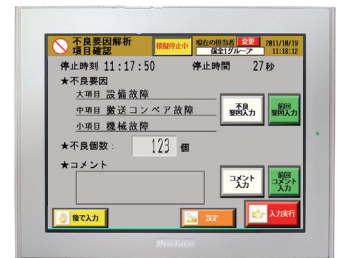
品質カイゼン活動を行なっていますが、不良要因の追求ができていません。理由は、わかっています。検査工程を自動化しても、現象だけの記録に留まり、分析に重要な「要因」が記録できていないからです。やはり、要因は、人が目で見ないとわかりません。そして、要因がわからなければ、原因の追究ができません。

## 手書きでの要因記録は、PCへの入力工数が…。

そこで、手書きで不良要因の記録を始めたのですが、PCへの入力が大変。入力時間もかかりますし、入力ミスも発生するし、分析するまでには遠い道のり…。なにか簡単に不良要因情報を収集して、品質改善できる分析ができないものか…。そんな時に、デジタルの営業員が提案してくれました。「表示器で、簡単・正確にワンタッチで不良要因を入力しませんか？」

## 表示器で、簡単・正確に、ワンタッチ入力！

営業員に提案してもらった通り、後付けで表示器を導入しました。よくある不良要因の項目を予め登録しているので、該当する不良要因の項目スイッチを選択するだけ。本当に、ワンタッチで記録できるんです。今までデータ入力していた時間は、なんだったのだろうかと本当に驚きです。これなら、要因を把握して、原因を追究することができます。やっと、本当の品質カイゼンへ、一歩前に進んだ気がしますね。



不良要因を項目から選択



## ご紹介した事例は最新機種でも実現できる！

新しい標準、新たな価値、はじまる。

## The New Pro-face Standard

プログラマブル表示器

# GP4000 SERIES



本チラシにてご紹介した提案内容は、GP4000シリーズでは構成が異なります。詳しくはお問い合わせください。

株式会社デジタル  
www.proface.co.jp

東京支社：03-5821-1101  
中部支社：052-961-3701  
西日本支社：06-6613-3111

仙台営業所・北関東営業所・神奈川営業所・長野営業所・豊田支店・北陸営業所・静岡営業所・岡山営業所・広島営業所・四国営業所・九州営業所

製品のご用命は

●Pro-faceは、株式会社デジタルの日本、米国、カナダ、ヨーロッパ、その他の国における登録商標です。●その他、本誌に記載している他社登録商標は、本誌掲載製品を紹介する目的のみでの使用であり、商標権を侵害する意図があるものではありません。